



第2章 緑に関する市民意向

2-1 アンケート調査の概要

2019年度（令和元年度）に「岩倉市都市計画マスタープラン及び岩倉市緑の基本計画」に関するアンケート調査を以下のように実施しました。

（1）調査の目的

本調査は、岩倉市緑の基本計画の策定にあたり、本市の緑の現状評価や今後の緑のまちづくりなどについての市民の意向を捉え、計画に反映していくことを目的に実施しました。

（2）調査対象及び方法

調査対象者は、無作為に抽出した本市に在住の18歳以上の男女2,500人で、郵送にて配布・回収を行いました。

（3）調査実施期間

調査実施期間は、2019年（令和元年）7月26日（金）から8月13日（火）までの19日間としました。

（4）回答状況

市民の回答者数は1,017人で有効回答率は40.7%でした。

■緑の基本計画アンケート調査の回収状況

区分	配布数	回答者数	有効回答率
市民	2,500票	1,017人	40.7%

※回収数1,019通中2通が全問未記入だったため除外

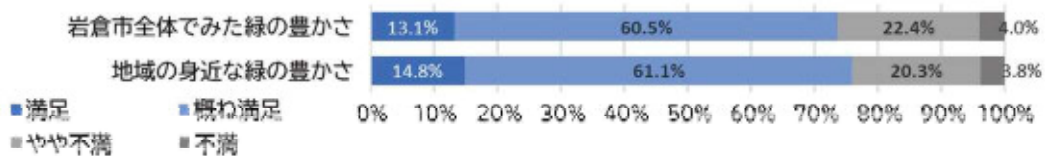
2-2 アンケート調査結果

1 岩倉市の現状評価

(1) 緑の満足度（問Ⅱ-1-2）

《 岩倉市の緑の現状をどうお考えですか 》

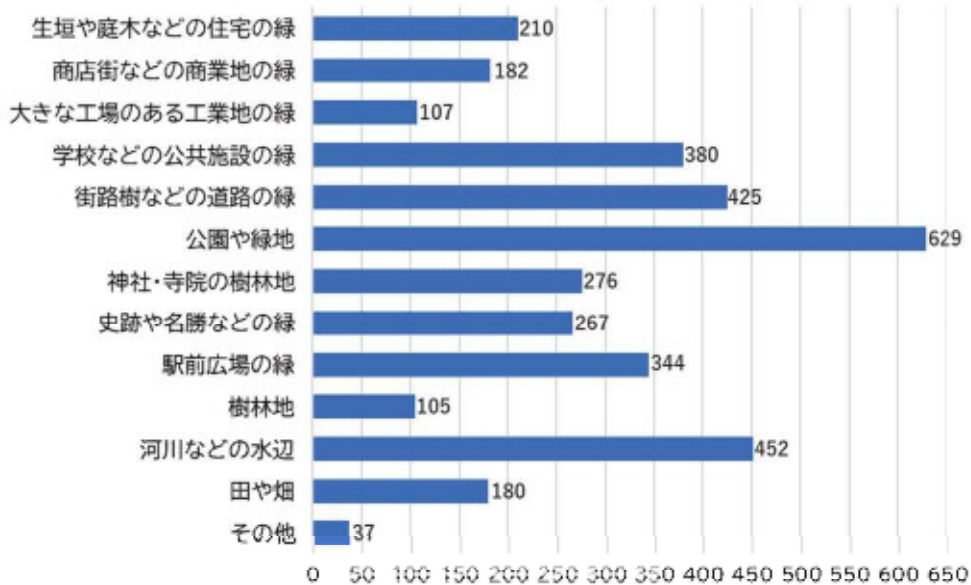
○緑の豊かさについては、岩倉市全体でみた緑・地域の身近な緑ともに、「満足」と「概ね満足」を合わせたプラス評価が7割以上を占める結果となっています。



(2) 守りたい・増やしたい緑（問Ⅱ-1-3）

《 あなたにとって、守りたい・増やしたいと思う緑は何ですか。（いくつでも選択可） 》

○守りたい・増やしたい緑については、「公園や緑地」が629件と最も多く、次いで「河川などの水辺」が452件、「街路樹などの道路の緑」が425件、「学校などの公共施設の緑」が380件、「駅前広場の緑」が344件の順となっています。

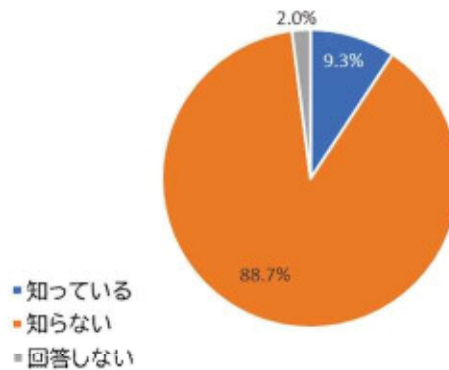


2 現行計画

(1) 緑の基本計画について（問Ⅱ-2-4）

《あなたは岩倉市緑の基本計画をご存知ですか。》

○緑の基本計画の認知度は低く、9割近い回答者が計画を「知らない」と回答しています。



(2) 現行の緑の基本計画の評価（問Ⅱ-2-5）

《岩倉市では、これまで現行の緑の基本計画で掲げた4つの目標の下で緑のまちづくりを進めてきましたが、現時点において、目標の達成度に対するあなたの評価をお聞かせください。》

○現行計画の目標の達成度については、「緑の保全のための目標」の評価が、「満足」と「概ね満足」を合わせたプラス評価が7割以上を占める結果となっています。

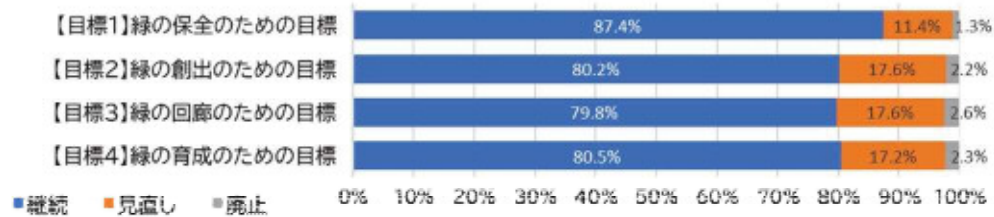
○「緑の創出のための目標」、「緑の回廊のための目標」、「緑の育成のための目標」については、「満足」と「概ね満足」を合わせたプラス評価は6割程度にとどまる結果となっています。



(3) 目標の継承 (問Ⅱ-2-6)

《現行の緑の基本計画の目標について、継続すべき、見直しすべき、廃止すべきと思うものをお聞かせください。》

○現行計画の4つの目標は、どれも8割程度が「継続すべき」となっていますが、特に「緑の保全のための目標」については「継続すべき」という回答が9割程度と多くなっています。



3 まちづくりのテーマ

(1) 緑のまちづくりの主要テーマ (問Ⅲ-1-2)

《今後の都市づくりにおいて緑のまちづくりの視点から重点的に取り組むべきと思うテーマは何ですか。(3つまで選択可)》

○重点的に取り組むべきテーマとしては、「五条川の桜、保護樹など岩倉市を代表する緑の保全」という回答が特に多く、次いで、「散歩やジョギングなどができる緑道などの歩行者路の整備」、「市民の憩いの場となる公園や広場の整備」が多い状況です。



4 分野別まちづくり

(1) 水・緑・公園について（問Ⅲ-2-3）

《今後のまちづくりにおける『公園・緑地』や『水辺』について、どのような取り組みが重要だと思いますか。（3つまで選択可）》

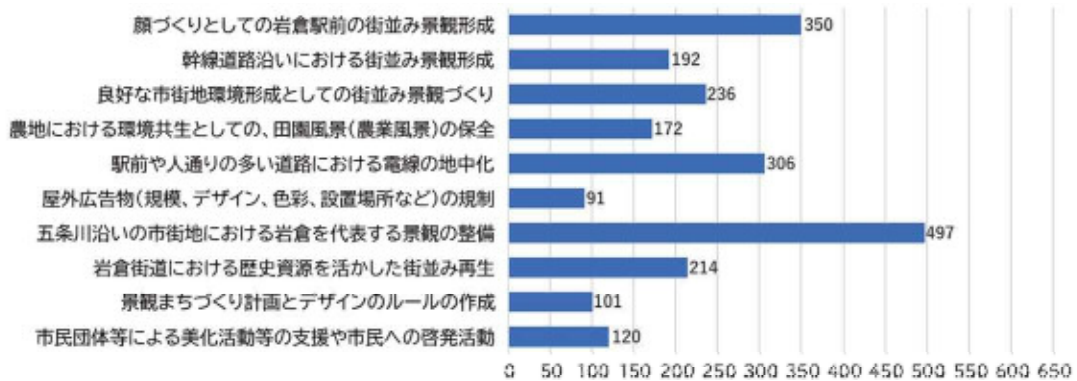
- 重要な取り組みとしては、「五条川の遊歩道（桜並木）の保全管理・充実」という回答が突出しており、次いで、「既存公園における施設（遊具や休憩所等）の更新」が多くなっています。
- 「地域の身近な公園（児童の遊び場や地域の憩いの場等）の増設」や「街角の小さな公園（ポケットパーク等）の新設整備」という回答が多く、また、「イベント会場となる拠点的な公園の整備・再整備」も多いことが伺えます。
- 公園の利用に関する住民参画の意識は低い状況です。



(2) 街並み・景観について (問Ⅲ-2-4)

《今後のまちづくりにおける『街並み景観形成』について、どのような取り組みが重要だと思いますか。(3つまで選択可)》

- 選択としては、「五条川沿いの市街地における岩倉を代表する景観の整備」が突出しています。
- 「顔づくりとしての岩倉駅前の街並み景観形成」や「駅前や人通りの多い道路における電線の地中化」など、岩倉駅周辺部の景観整備も重要な取り組みと認識されていますが、「景観まちづくり計画とデザインのルールの作成」や「屋外広告物(規模、デザイン、色彩、設置場所など)の規制」といった景観制度はあまり重要視されていません。
- 五条川や岩倉駅前などにおける代表的な景観づくりを重要視する一方、ルールやコントロールへの関心が低い結果となっています。

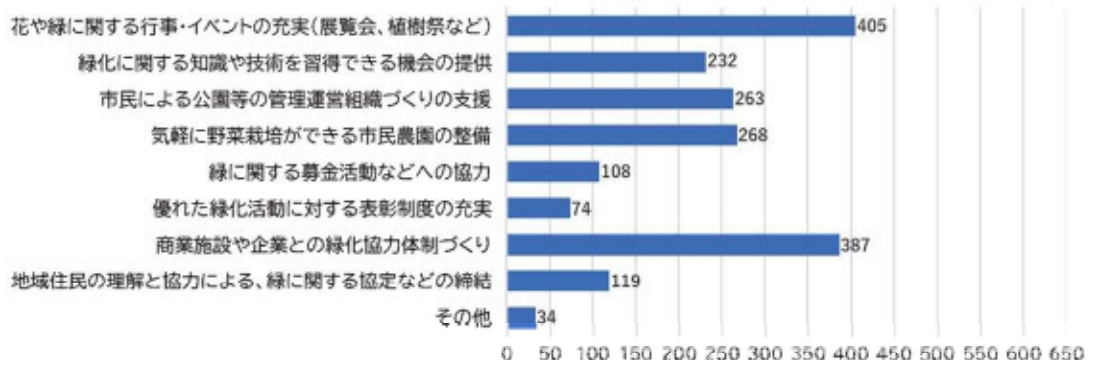


(3) 緑のまちづくりについて（問Ⅲ-2-6）

《緑のまちづくりを充実させるために、岩倉市では今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも選択可）》

○緑のまちづくりを充実させるための取り組みとしては、「花や緑に関する行事・イベントの充実（展覧会、植樹祭など）」という回答が多く、次いで「商業施設や企業との緑化協力体制づくり」が多くなっています。

○「市民による公園等の管理運営組織づくりの支援」や「気軽に野菜栽培ができる市民農園の整備」、「緑化に関する知識や技術を習得できる機会の提供」という回答も一定程度存在しますが、「緑に関する募金活動などへの協力」や「優れた緑化活動に対する表彰制度の充実」は少ない状況です。

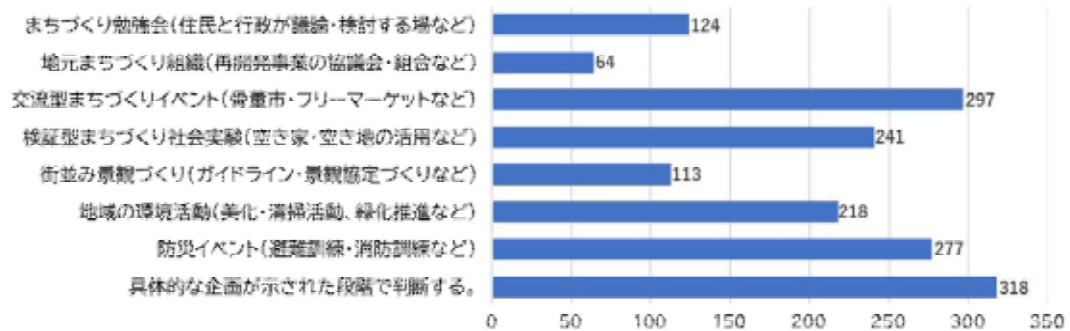


5 まちづくりへの住民参加

(1) まちづくりへの住民参加（問Ⅲ-3-1）

《今後、小学校区などの地域単位で以下の市民参画型まちづくりを実施する場合、あなたは参加したい（参加できる）と思いますか。》

○「交流型まちづくりイベント（骨董市・フリーマーケットなど）」をはじめ、「防災イベント（避難訓練・消防訓練など）」など、地域の交流や防災等のソフト面の活動への参加意識は高く、「地元まちづくり組織（再開発事業の協議会・組合など）」や「街並み景観づくり（ガイドライン・景観協定づくりなど）」といったハード面に関連する活動は低い結果となっています。





6 アンケート結果の考察

(1/2)

分類	項目	内容
1 岩倉市の現状評価	① 緑の満足度	○ 本市の緑の豊かさについて、市民の約7割の人が「満足」、「概ね満足」と回答し、市民の緑に対する満足度は高いといえます。
	② 守りたい・増やしたい緑	○ 守りたい・増やしたい緑については、「公園や緑地」が最も多く、次いで「河川などの水辺」、「街路樹などの道路の緑」、「学校などの公共施設の緑」、「駅前広場の緑」と続いています。公園の新設・維持・管理のほか、公共施設として整備・管理していく緑全般の保全を望んでいます。
2 現行計画	① 緑の基本計画について	○ 緑の基本計画の認知度は低く、9割近い回答者が計画を知らない状況となっており、計画の周知推進が必要です。
	② 現行の緑の基本計画の評価	○ 現行計画の目標の達成度については、「緑の保全のための目標」の評価は、「満足」と「概ね満足」を合わせて7割以上と「緑の保全」について市民の満足度が高いことが伺えます。 ○ 「緑の創出のための目標」、「緑の回廊のための目標」、「緑の育成のための目標」については、「満足」と「概ね満足」を合わせ6割程度と、保全に比べ低い結果であり、満足度の向上が必要です。
	③ 目標の継承	○ 8割程度の人が緑の基本計画のすべての目標を継続することを望んでおり、継続が必要です。
3 まちづくりのテーマ	① 緑のまちづくりの主要テーマ	○ 重点的に取り組むべきテーマとしては、「五条川の桜、保護樹など岩倉市を代表する緑の保全」が特に多く、次いで「散歩やジョギングなどができる緑道などの歩行者路の整備」、「市民の憩いの場となる公園や広場の整備」が多い状況となっています。 ○ 五条川の緑のまちづくりへの保全活用と、公園や広場が不足する地区への整備が求められています。

分類	項目	内容
4 分野別まちづくり	①水・緑・公園について	<p>○重要な取組みとしては、「五条川（遊歩道・桜並木）の保全管理・充実」が突出しており、五条川に関する意識は高いといえます。</p> <p>○次いで、「既存公園における施設の更新」や「地域の身近な公園の増設」が求められています。</p> <p>○また、「イベント会場となる拠点的な公園の整備・再整備」を望む回答も多く、市民は地域の拠点となる場所を求めていることが伺えますが、公園の活用に関する住民参画の意識は低い状況です。</p>
	②街並み・景観について	<p>○「五条川沿いの市街地における岩倉を代表する景観の整備」が突出しており、市民の五条川に関する景観への意識が高いことが伺えます。</p> <p>○五条川や岩倉駅前（都市の顔）などにおける本市の代表的な景観づくりへの要望は高く、街並み整備のためのルール作成やコントロールへの関心は低いといえます。</p> <p>○まちの顔となるような重要箇所での景観づくりが求められています。</p>
	③緑のまちづくりについて	<p>○緑のまちづくりを充実させるための取組みとしては、「花や緑に関する行事・イベントの充実（展覧会、植樹祭など）」や「商業施設や企業との緑化協力体制づくり」が多く、緑化の取組みに対するニーズは高いといえます。</p> <p>○「市民による公園等の管理運営組織づくりの支援」や、「市民農園の整備」、「緑化に関する知識や技術を習得できる機会の提供」も一定程度存在しており、緑のまちづくりへの関心がある人への情報提供や活動の場づくりなどの取組が求められます。</p>
5 まちづくりへの住民参加	①まちづくりへの住民参加	<p>○「交流型まちづくりイベント（骨董市・フリーマーケットなど）」をはじめ、「防災イベント（避難訓練・消防訓練など）」などへの参加意識が高くなっています。一方で、市街地や再開発や街並み景観形成といった回答は少なく、地域の交流や防災等の身近なソフト面の活動への参加など、身近なまちづくりから住民参加を進めていくことが有効と考えられます。</p>